



## 社協茶論

だれもが楽しめる  
空間を創っていきたい

Shakyo Salon

NPO 法人わくわーく 理事長 小橋 祐子氏



八幡東区に障がい者の就労支援と地域コミュニティ活動を行う NPO 法人を起ちあげて 15 年。いまや8本もの多彩なプロジェクトを同時進行させている小橋さん。まさにバリアフリーを体現する地道な活動の先には、若者の感性と結びついた明るい未来が見えているようです。

### ●ご縁で始まった“部活動のように働く”楽しさ

—— 福祉の仕事を始めたきっかけは？

一般企業に勤めた後、子育て中にパートの仕事探して偶然出会ったことがきっかけです。福祉の勉強も、精神に障がいをもつひとと関わったこともなかったけれど、彼らと共に簡単な事務と配達業務で働くことはとても楽しく充実していました。でも、当時、精神障がいは福祉ではなく医療の領域とされていて、まだ偏見がありました。次第に社会福祉という概念が世の中に知られ始め、介護・福祉に関する法律や制度が整備されていく中、いまのスタッフたちと知り合ったのです。副作用がある派手な色の劇薬をご飯のように飲まなくてはならなかった人たちが、身体に優しい薬が出始めて守られるように時代も変わっていきました。そうして、私たちは「障がいをもつ人も一緒に過ごせる居場所を作ろう」と NPO 法人を起ち上げました。就労・生活支援の障がい福祉サービス事業所「BOCCHI」は私たちなりに順調に運営してこられましたが、制度が整うと新たな悩みも生まれました。あくまでも“運営者はサービス提供者”であり、作業所で働く“利用者はお客様”と、法律によって“評価を伴う仕事”と意味づけされたからです。それまでの一緒くたになって楽しく働く関係性が変わったのは、当たり前のことですが少し寂しかったですね。

### ●チャレンジしたい人を大募集中！

—— 環境に優しい活動は多岐にわたっていますね

おかげさまで、いまは事業を担 [→全文は市社協 HP で読めます！\(https://x.gd/xb8wp\)](https://x.gd/xb8wp)

## NPO法人わくわーくの3つの事業

### ①障害福祉サービス事業所 BOCCHI (ボッチ)

障がいを持つ当事者への就労支援や生活支援、ご家族等への福祉に関する相談の場、当事者への支援を担う人材の育成などを実施しています。

### ②地域コミュニティ：多世代交流スペースくるくる

多世代多様な方々が集う「場」を提供しています。

### ③Be Happyプロジェクト

たくさんのプロジェクトを通して障がいのある方の仕事や役割が増え、やりがいや生きがいを見つけられるようになることをめざしています。

※詳しくは、NPO法人わくわーくのホームページ (<https://www.wakuwa-ku.com/>) をご覧ください！



市社協だよりは、LINE 公式アカウントにて配信中！  
ホームページや Instagram、YouTube もチェック！！

LINE



市社協 HP



Instagram



YouTube

